



Manostar

微差圧計測機器のトップシェアメーカーとしての誇り。

株式会社 山本電機製作所

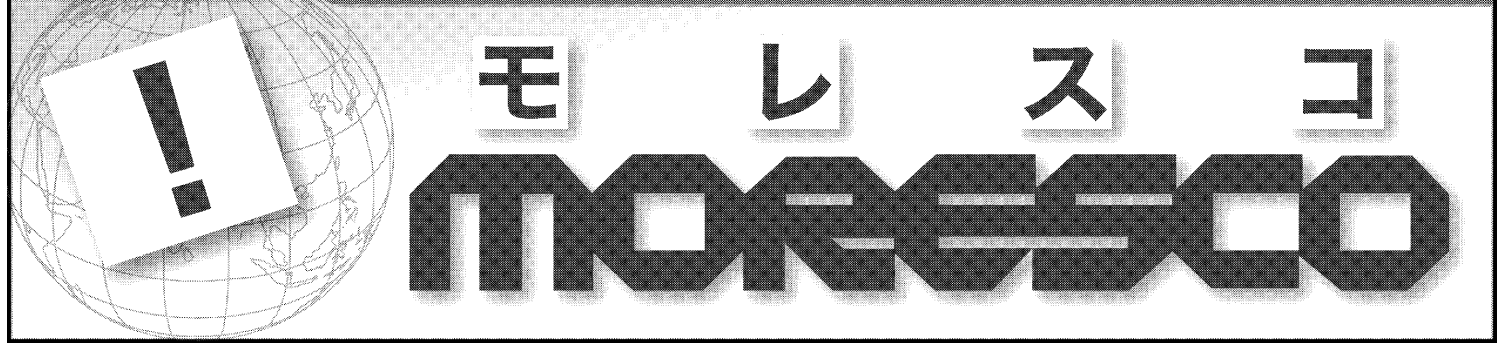
〒653-0031 神戸市長田区西尻池町一丁目2番3号
TEL: (078)-631-6000 FAX: (078)-631-6020
<http://www.manostar.co.jp/>

こ
こ
に
も

世の中を走らせる
高機能潤滑剤の
エキスパート



株式会社 MORESCO カスタマーセンター / TEL.06-6262-3385
<http://www.moresco.co.jp/>



フタバ
フタバは扇状の鋼板を円すい状に加工する円すい曲げや形鋼の加工を得意とする。円すいレジューサーは主にプラントや建設機械の配管などに用いられ、「キズがない、高品質で高精度なうえに短納期」と効率的なモノづくりに定評がある。
加工装置を設計から手がける開発体制が強い。2017年3月に300mmの大型装置を導入、難しかった厚み25mmの鋼板の熟練レベルの高品質加工を実現した。人材育成も特徴で、新たな制度が技術手帳制度だ。習得した技術や改善点を社員自らが手帳にまとめる。幹部や社員同士で手帳を評価、成長チェックや、ほかのアイデアを業務の参考にしよう。プロセス評価で士気向上につながるが狙いだ。同業者の関心も高く見学希望は絶えない。

東洋機械金属
射出成形機とダイカストマシンとの製造を手がける東洋機械金属は、意思決定の早さや細やかなモノづくりなど、機動力を高める顧客の需要に応え、厳しい競争を勝ち抜く。2017年度は3カ年中期経営計画の最終年度。売上高300億円達成を目標に掲げる。
射出成形機は中・大型の生産にシフトしており、4月には本社工場敷地内に新設したフレーム製工場が稼働を始めるなど増産に向けた準備が整った。完全電動ダイカストマシンなど独自の展開や、新機能を盛り込んだ製品開発にも注力する。競合大手と共同開発したダイカストマシンを市場投入するなど、購買・製造・販売の各面で事業パートナーと協業を推進し、成長への布石を打つ。

岡田金属工業所
岡田金属工業所は替え方式のごきりの事業メーカー。2017年3月には主力ブランド「ゼットソーシリーズ」初の折り込み式のごきり「ゼットソールVⅢ（フェイスリー）265」を発売した。携帯性と収納性を重視して腰袋や工具箱に収まるサイズに設計。長時間の作業にも配慮し、重量を最軽量クラスの288gに絞った。狭い場所での使い勝手をよさくするため先端部を先細り形状にするなど、随所に工夫をちりばめ販売を狙う。
大工仕事では材木以外の建材を切る工程も多く、今後は樹脂素材や新しい建材等の用途に応じた折り込みシリーズを展開予定。時代の変化に対応し、使う側の立場に寄り添った商品開発で満足を提供し続けていく。

活躍する兵庫・神戸企業
わが社の製品・技術・サービス

KOBEレポート



人工島ポートアイランドは高まりつつある。京都市（区）など、研究に広がる国内最大。4月以降も企業の進出を支援する企業の級のバイオメディカル 出発表が相次いだ。日進出も目立つ。また2クラスター「神戸医療 立製作所は神戸医療イノベーションセンター（RCMI）内に「日病を治療する神戸アイ成研究センター（CD）立神戸ラボ」を開設。センター病院（仮称）B）や先端医療センター、再生医療用細胞自や小児がんに重点をIをはじめとする研究 動培養技術の研究開発 置いた新粒子線治療施設 機関や大学、病院、企を推進する。大阪大学 設が開所する予定だ。
神戸市内に本社を置く地元企業も医療産業の集積地だ。5月末 発ベンチャー企業の大時点で進出企業・団体 トリックソム（大阪府の総数は3336に上 吹田市）はiPS細胞 都市を力強く後押しする。再生医療による治 （人工多能性幹細胞）る。その代表格が、検査機器・試薬・世療法法の確立、人工知能 やiPS細胞（胚性幹細胞）体検査機器・試薬・世（AI）やロボット技術 の培養技術を活用 界的に高いシェアを持つ つシスメックスだ。手術の医療展開など、次し医薬品開発に取り組 術支援ロボットの開発 術支援ロボットの開発 として、その機能に役 フィールディング（東を目標し川崎重工業と共同出資するメディカ 区）では、同社初の製 指す。
16年11月にはシスメックスの家族恒会長兼社長が神戸商工会議所の会頭に就任。同会議所では過去50年にわたるハイブリッド手術室を有する全国の医療機関に提案する。
崎重工業、銀行出身者が占めてきた。医療機器業界からの会頭輩出は初めてで、医療産業都市政策の深耕に期待がかかる。

発展続く医療産業都市計画
企業進出相次ぐ
また、神戸大学が4月に開所した医学部付属国際がん医療・研究センターでは、同大学と連携し研究開発を実施する。AIやロボット技術の外科治療への早期導入や、患者に負担が少なく根治できる担当が少なく根治できる。また、神戸大学が4月に開所した医学部付属国際がん医療・研究センターでは、同大学と連携し研究開発を実施する。AIやロボット技術の外科治療への早期導入や、患者に負担が少なく根治できる担当が少なく根治できる。

兵庫・神戸特集



TOYO TIRES
driven to perform

そのタイヤに、驚きはあるか。